

# 2026年度 町田市立鶴川中学校 年間指導計画及び観点別評価規準

第3学年 教科:技術科

教科書:東京書籍

週時数0.5

担当者:中居

学期	月	単元	時数	観点別評価規準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
1	4	コンピューターの利用 表計算ソフト	2	関数の意味を理解して組み合わせて入力することができる。	プログラミング教育としてのプログラムされた理論式を入力している。	効率的に作業するための工夫がされている。	
	5	エネルギー変換の技術 電気の種類 発電システムについて	1	電気の種類とその特徴を理解している。直流と交流の違いを理解している。ICTを活用して電気のできる仕組みを学ぶ。	直流と交流の違いを発表し理解している。周波数(Hz)を理解している。発電所の発電割合の推移グラフを見て説明する力が身についている。	知っている発電システムについて積極的に発言しようとしている。	
				発電所の種類や仕組み・特徴を理解している。ICTを用い発電の仕方を学ぶ。	再生可能エネルギーの種類が相手に分かるように発表することができる。ICTを活用し再生可能エネルギーの種類を理解している。		
				エネルギー資源の特徴を理解している。	さまざまな発電方法のプラス面マイナス面を理解している。	これからの発電方法や発電面についての探求しようとしている。	
	6	電気を供給する仕組みと電源の種類 回路図について考えよう。	1	電圧・電流・抵抗値・電力を理解している。	電圧・電流・抵抗値・電力を関連つけて説明する力が身についている。	電圧・電流・抵抗値・電力の関係が関連付けて説明しよう工夫している。	
				2	電気エネルギーを利用する仕組みを理解している。電源、導線、負荷、スイッチの図記号が書ける。	電気回路を図記号によって書き表す力が身についている。	プリント学習、電気の通り道を自分の考えで示そうと工夫している。
	7						
	2	9	電気に関する基礎知識	2	電気の流れ道とショート回路について理解し電気の流れ方を理解している。	電気の通り道の予想を発表し、予想が実験と異なった場合の説明を理論的に伝えられるように工夫している。	電気が電球を通らなかった理由を考えレポートにまとめ、わかりやすく伝える工夫をしている。
		10		3	直列回路と並列回路の違いを理解している。直列接続と並列接続の違いを理解している。	オームの法則を用いての電流・電圧・抵抗値を求めることができる。	プリント学習
		11	延長コードの作成	3	工具が適切な使い方を理解し使っている。	安全な工具の使い方と適切な利用の仕方を理解している。	安全に留意して延長コードの作成に進んでとり組もうとしている。適切な機器をつかい製品の検査確認をすすんで行うことができる。
		12					
		1			まとめとして授業内テストの実施。		
3	1 3	電気機器を安全に使用するための技術	3	プリント「電気事故・電気火災の実態」について理解を深め安全な電気機器の使い方を理解している。ICTやDVDを用いて電気事故の理解を深める。	電気事故の種類や原因についての知識を深め自分なりの推論をもち分かりやすく伝える工夫をしている。	DVD「電気事故・電気火災」を通し理解を深める。定格電力・電圧について学び、安全な電気機器の利用を学ぶ意欲が見られる。	
<b>評価【300% (3観点の合計 ÷ 3 = 100%)】</b>				<b>知 (100%)</b>	<b>思 (100%)</b>	<b>主 (100%)</b>	
評価方法				テスト 80%	テスト 80%	授業内活動 100%	
				授業内活動 20%	授業内活動 20%		